

気候情報

2012年5月の日本の天候

- 東日本を中心に、上旬や下旬は大気の状態が不安定になった
- 上旬前半は北・東日本太平洋側で大雨となった
- 西日本は月降水量がかなり少なかった

5月の天気概況

東日本を中心に、上旬や下旬は上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となることがたびたびあり、所々で雷雨となった。特に、6日は茨城県、栃木県、福島県で竜巻が発生し、大きな被害をもたらした。また、上旬前半には動きの遅い低気圧の影響で北・東日本太平洋側では記録的な大雨となり、これらの地域の5月上旬の降水量は、統計を開始した1961年以降最も多い値を更新した。

西日本では、低気圧や南西からの湿った気流の影響を受けにくく、月降水量はかなり少なかった。西日本太平洋側は、5月としては統計を開始した1946年以降で2009年と並び最も月降水量が少なかった。沖縄・奄美では、中旬は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かったが、上旬と下旬の前半は梅雨前線の活動は不活発で晴れの日が多かった。

気温は、北日本から西日本では、上旬前半は高温となったが、上旬おわりから中旬はじめにかけて寒気の影響で低温となるなど、月前半は気温の変動が大きかった。

上旬：北・東日本では、動きの遅い低気圧や上空の寒気の影響で天気がぐずついた。特に北・東日本太平洋側では、旬の前半の動きの遅い低気圧の影響で、降水量は、5月上旬としては統計を開始した1961年以降最も多い値を更新した。沖縄・奄美では、旬のはじめとおわりに低気圧や梅雨前線の影響で曇りや雨となった所があったが、そのほかの日は概ね晴れた。また、旬の後半には、上空に強い寒気が流れ込んだ影響で、北日本から西日本では所々で雷雨となり、6日には茨城県、栃木県、福島県で竜巻が発生した。旬の前半は、西日本から北日本を低気圧が通過し、南からの暖かい気流が入った影響で高温となったが、旬のおわりには、北日本から西日本は寒気の影響で低温となった。

中旬：日本付近を低気圧や高気圧が交互に通過し、北日本から西日本にかけて、天気は概ね数日の周期で変わったが、天気の崩れは小さかった。北日本では旬のはじめに寒気や湿った東風の影響をうけ、天気のぐずついた所があった。東日本では、北からの高気圧に覆われることが多く、晴れの日が多かった。沖縄・奄

美では、梅雨前線や太平洋高気圧の縁を回る湿った気流の影響で曇りや雨の日が多かった。北日本から西日本では旬の前半は寒気の影響で気温が低かった。

下旬：北日本から西日本では、旬のはじめは日本の南海上を低気圧が通過した影響で天気が崩れた。旬の後半は上空の寒気の影響によって大気の状態が不安定となり、所々で雷雨となった。沖縄・奄美では、旬の前半は梅雨前線の活動が不活発で晴れの日が多かった。

5月の気候統計

月平均気温：全国的に平年並だった。

月降水量：西日本でかなり少なく、東日本日本海側で少なかった。一方、北日本太平洋側でかなり多く、東日本太平洋側が多かった。北日本日本海側、沖縄・奄美では平年並だった。

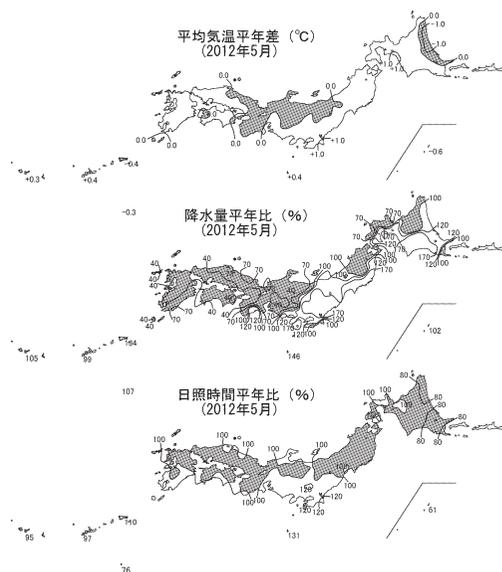
月間日照時間：北日本で少なく、東日本日本海側、西日本、沖縄・奄美で平年並だった。東日本太平洋側では多かった。

(気象庁観測部情報管理室)

5月の記録(1位更新のみ)

- ・月降水量多い方から (mm)
白河 251.5 水戸 346.5 日光 465.0
- ・月降水量少ない方から (mm)
大阪 25.0 奈良 37.5 日田 37.0 都城 87.5
宿毛 61.5

2012年5月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。